



創造みらい半田 岩田 玲子

半田市のふるさと納税の現状と今後

問 2008年の地方税法改正により、ふるさと納税制度が始まり、13年が経ちました。市議会定例会や決算委員会の際には、毎回のようについて議論となつていきます。その原因は、半田市のふるさと納税の収支のマイナスがどんどん増え続け、今では約2億円の赤字となつている事を危惧しているからと思われま

答 寄附による市民税控除額が、半田市へのふるさと納税寄附額より約2億円も多いことは重く受け止めております。現在、市役所内で、組織横断的なチームを作り、ふるさと納税を増やすための方法を検討しており、その差を埋めることができるよう取組みを進めていきます。

問 ふるさと納税の収支がせめてプラスマイナスゼロとなることを希望しますが、半田市は、収支に対する考え方や、具体的な目標を設ける考えはありますか。

答 ふるさと納税寄附額を、市民税控除額と同等もしくはそれ以上とすることを目指し、現在は、前年度実績の2倍を翌年度の目標額と定め、取組んでいます。

問 ふるさと納税の収支の現状と税収減に伴う市民への影響を市報やホームページに掲載し、市民に知っていただく事も大切と考えますがいかがですか。

答 情報公開として、現状を掲載してまいります。

問 ふるさと納税に対する市長の考えをおたずねします。

答 早急に対策を講じる必要があると考え、若手職員を中心にプロジェクトチームを組んで取組んでおり、収支の差を縮めていきます。市民のみならず、市外の方に半田市へ寄附して頂くようお願いいたします。どうしたら寄附額が増えるか、アイデアがあれば、ぜひアドバイスを頂けたらありがたいと思っています。



公明党 坂井 美穂

子宮頸がんから命を守るための情報提供

問 子宮頸がんワクチン定期接種の接種人数と接種率を教えてください。

答 昨年、個別通知を郵送した高校1年生相当年齢の543人のうち、接種を受けた人数は47人で接種率は8.7%、個別通知以前の1昨年は604人に対し、4人で0.7%です。

問 郵送での個別通知により接種率が上昇しています。学校での保健だよりの配付では、児童・生徒から保護者への渡しそびれなどにより、接種の機会を逃すリスクがあります。命に関わる重要な通知です。確実に周知するためには対象者全員への郵送での個別通知が必須ですが、いかがですか。

答 小学校6年生から中学校3年生に対しては学校から保健だよりを配付します。郵送はしません。様々な方法で補完し、周知していきます。

子どもの目の健康と未来を守る取組み

問 50人に一人はいるとされる「弱視」の早期発見には、3歳児健診の家庭でのランドルト環検査に加え、「屈折検査」の機器でのスクリーニングが必須であると考えますが、見解を伺います。

答 「屈折検査」の機器の導入にあたっては、現行のランドルト環による検査との判断基準の整理や、医療機関の確保等が必要となるため、今後、これらの課題を解決しながら検討を行います。

ファーストミッションボックスによる避難所開設

問 ファーストミッションボックス（FM B）を導入することで、その場にいる人たちが迅速に避難所を開設できます。モデル自治区を設定し、指示書の作成と訓練の検証を行い、水平展開してはどうですか。

答 半田中学校区の取組みを参考に自主防災会と協議しながら半田市オリジナルのFM Bを作成し、各避難所へ配備します。



創造みらい半田 竹内 功治

市民サービスの向上に向けスマホのアプリを活用した取組み

問 半田市では「マイレボ」はんだ、さんあくる、マチイロ、公式ライン」など、スマホのアプリを活用した取組みを行っております。登録者数の増加や利用促進のため市のホームページのトップ画面や市の封筒などに案内してはどうですか。

答 現在取組んでいる方法以外でも案内するようしていきます。

問 紙媒体だけではなく、子ども成長記録、予防接種やイベントの案内など子育て支援の充実が図れる母子手帳アプリを導入してはどうですか。

答 「はんだうこネット」のサイトで子育ての情報発信を行っており、直ぐにアプリの導入は考えていませんが、国でアプリを導入する動きがあるため注視して対応します。

問 保護者と小中学校との連絡は連絡帳や電話、学校メルマガなどに限られ不便な状況なので、学校生活におけるアプリを導入してはどうですか。

を導入してはどうですか。

答 学校生活アプリは保護者と学校が相互に送信ができて効率的な情報収集や出席連絡、教員の負担軽減にも繋がるため、導入に向けて有効性の実施検証を行います。

問 匿名報告アプリなどは考えていますか。

答 いじめの抑制効果は期待できますが相談体制の整備や予算に課題があるため、先進事例を参考に調査研究します。

問 半田市の魅力発信するため観光アプリを導入してはどうですか。

答 アプリではないですが、が来年度から「半田めぐりんマップ」を多言語翻訳に対応したデジタル版に変更します。またアニメキャラクター「知多娘。」と一緒に知多半島を巡るアプリ「モヒオビ」の活動の協力や連携をして広域で取組みます。

問 半田市が行っているアプリを集約したプラットフォームの役割を担う、独自の自治体アプリを導入してはどうですか。

答 独自のアプリは多額の費用が掛かるため、民間アプリを活用して市民サービスの向上に努める考えです。

